

平成29年度 地理A

教科(科目)	地理歴史(地理A)	学科(コース)・学年	全学科・1学年
使用教科書	地理A(東京書籍) 基本地図帳(二宮書店)		
副教材等	図説地理資料 世界の諸地域NOW2017(帝国書院)		
履修単位(時間)	2単位(70時間)	履修条件	必修

1. 学習目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察し、現代世界の地理的認識を養う。地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 指導の重点

- 地球儀や地図の活用、統計資料などの地理情報の選択と処理、またその地理情報化や地図化といった作業的な学習を取り入れる。
- 自分が住む地域の課題の考察、身の回りにある地図を使った学習、地域の防災に関する学習など日常生活と密接に結びついた内容の充実をはかる。

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1 学期	第1編 現代世界の特徴と動向 第1章 地球儀や地図からとらえる世界 第2章 結びつく現代世界 第2編 世界の生活・文化の多様性 第1章 世界的視野から見た自然環境と文化	○地球儀と世界地図との比較や読図などをおして地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結びつきを理解する。 ○世界の地形・気候・文化について広く大観する。	○地図や統計資料を活用した課題追究学習を行う。 ○授業に真剣に取り組む、内容の理解に務める。 ・学習状況観察 ・単元テスト ・定期テスト ・発問評価
2 学期	第2編 世界の生活・文化の多様性 第2章 諸地域の生活・文化と環境 第3編 深刻化する地球的課題とその解決策 第1章 地図で読み解く地球的課題 第2章 さまざまな地球的課題 第3章 持続可能な社会の実現をめざして	○世界の各地域の特色を地理的条件や自然環境と関連づけて理解する。世界の各地域の生活・文化を地理的条件や自然環境と関連づけてとらえ、その多様性を理解する。 ○資源・エネルギー、人口、食料、都市、環境などに関わる諸課題を大観するとともに、持続可能な社会の実現に向けた国際協力や日本の取り組みを考察する。	○授業に真剣に取り組む、内容の理解に務める。 ○地図や統計資料を正しく選択し、活用できる。 ・学習状況観察 ・単元テスト ・定期テスト ・発問評価
3 学期	第4編 身近な地域と地理的課題 第1章 身近な地域と地図 第2章 自然環境と防災 第3章 生活圏の地理的な諸課題と地域調査	○防災を含む身近な地域の諸課題について、地形図の読図や作図などの作業的、体験的な学習を通して地理的技能や地理的な見方や考え方を身に付ける。	○授業に真剣に取り組む、内容の理解に務める。 ○地図や統計資料を正しく選択し、活用できる。 ・学習状況観察 ・単元テスト ・定期テスト ・発問評価

4. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
<p>○地理的諸事象，ないしは現代的諸課題に興味と関心を持ち，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。</p> <p>○地理学習の意義を積極的に見出し，そこで得た知識・技能・態度を社会生活，ないしは現代的諸課題の解決に生かすことができる。</p>	<p>○地図化したことを他の地理的諸事象との関わりから分析・考察・解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方・考え方）を見いだすことができる。</p> <p>○現代的諸課題を，地域性を踏まえて，その背景・要因・解決策を多方面から追究し，より良い社会のあり方を環境・人権・平和の観点から提言することができる。</p>	<p>○学習に必要とされる様々な資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。</p> <p>○文献や統計の分析，野外における諸事象の観察から，地理情報を見だし，それを的確に地図化することができる。</p>	<p>○地理的諸事象や地域性，現代的諸課題の分析・考察に必要なとされる基礎的知識（用語・地名など）や基本的概念（空間，環境，地域）を身につけている。</p> <p>○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念，地理的見方・考え方を身につけている。</p>

具体的な評価の対象

- ・年5回（5月中旬、7月上旬、10月上旬、11月下旬、2月下旬）の定期考査
- ・単元テスト、授業で使用したプリント、学習・授業ノートなど
- ・学習活動の参加状況（態度、発言内容、授業への取り組み、地図の読図や作図など）

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

生徒諸君は、自分の考えで主体的に学習・行動できるようになってもらいたい。「地理A」の授業を通して、様々な地理的・地球的課題や生活圏の特色や課題を理解し、その解決にむけた取り組みについての自分の考えをまとめ、表現・発表できる力を身につけてもらいたいと思います。